

福島県郷土資料情報

No.65 2025. 3

(特集「福島県立図書館移転40周年記念事業」実施報告)

編集・発行：福島県立図書館
〒960-8003 福島市森合字西養山1
Tel 024-535-3218
Fax 024-536-4787
<https://www.library.fcs.ed.jp/>



『福島県管内道路分類縮図』〔出版者不明〕〔明治初期〕

目 次

特集「福島県立図書館移転 40 周年記念事業」実施報告	1 ～ 6
貴重郷土資料探照 25 「福島県管内道路分類縮図」	7 ～ 9
令和6年度「福島を生きる講座」実施報告	10 ～ 11
福島県関係書誌の紹介 2024	12 ～ 20

「福島県立図書館移転 40 周年記念事業」実施報告

福島県立図書館は、昭和 4(1929)年 2 月に文部大臣より設立認可を受け、同年 10 月福島市杉妻町の紅葉山公園内に、県立物産陳列館を改修した建物を最初の館舎として開館いたしました。

その後改築・新築のための一時移転を挟み、昭和 33(1958)年 11 月に福島市松木町の建物(現福島市立図書館)に移転。現在の館舎は三代目で、昭和 59(1984)年 7 月 22 日に福島市森合で開館し、令和 6(2024)年で移転後 40 年となりました。

令和 6 年度は福島県立図書館移転 40 周年を記念し、下記の事業を実施いたしました。

Ⅰ. 福島県立図書館森合移転 40 周年記念イベント

令和 6 年 7 月 5 日(金)から 7 月 31 日(水)にかけて、以下のイベントを開催いたしました。

◆子どものための図書館見学

(1) 概要

4 歳から小学生までの子どもとその保護者を対象に、普段は入れない書庫を特別に案内する図書館見学を実施。見学中の一企画・図書館クイズが好評で、意欲的に回答していただけた。

見学終了後には、40 周年事業のブックカバーとポストカードを配布した。

(2) 開催日時 令和 6 年 7 月 25 日(木) 11 時から 11 時 30 分

(3) 参加者数 22 名 ※事前申込制

◆図書館見学ツアーと大人のためのミニおはなし会

(1) 概要

公開図書室から書庫へ利用者が普段立ち入ることのできない非公開の場所の見学を実施した。移転 40 年にちなみ、図書館建築の特色を加えて県立図書館の魅力を説明した。書庫の特殊文庫は長田弘文庫、佐藤文庫の書架へ案内した。

見学終了後、大人のためのミニおはなし会を第一研修室で実施。以下の 3 つの資料の読み聞かせを行った。ミニおはなし会終了後には、参加者アンケートを実施した。

①絵本の読み聞かせ 『よあけ』 ユリー・シュルヴィッツ／作・画 瀬田貞二／訳 福音館書店

②朗読「信夫山」(収録:『小道の収集』 長田弘／著 講談社)

③ビックブック 『やさしいライオン』 やなせたかし／作・絵 フレーベル館

福島市外から参加された方や、県内の各市町村立図書館で配布したちらしや SNS で情報を入手された方もおり、参加者の年齢層にも幅が見られた。

(2) 開催日時 令和 6 年 7 月 27 日(土) 10 時 30 分から 11 時 30 分

(3) 参加者数 14 名 ※事前申込制

◆ごろすけと一緒にクイズに挑戦!福島県立図書館クイズラリー

(1) 概要

クイズラリーマップをもとに、館内を巡りながら掲示されたクイズを解き、キーワードを完成させるクイズラリーを実施。事前申込は不要で、誰でも参加可能。クイズラリーは以下の流れで実施した。

- ①総合案内付近で配布しているクイズラリーマップをもとに図書館内をめぐり、クイズが掲示してある場所を探す。
- ②クイズを解いて、クイズラリーマップに選択肢の文字を記入する。すべてのクイズを解くと、「キーワード」が完成。
- ③キーワードが完成したクイズラリーマップを総合案内カウンターへ持っていくと、記念品(ポストカードかブックカバー)をもらえる。(各日先着 100 名)



問題は図書館に関する5問を作成。子どもを中心とした家族での参加が多く、楽しそうに館内をめぐることが見受けられた。

(2) 開催日時 令和6年7月27日(土)、28日(日)

(3) 参加者数 114名 ※記念品配布数より算出

◆移転40年記念品の作成・配付

(1) 概要

移転40周年を記念して、福島県立図書館のマスコットキャラクター・ごろすけを描いた特製しおりを作成し、各カウンターに設置してイベント期間内配布した。また、特製ブックカバー及びポストカードも作成し、見学ツアーやクイズラリー、福島を生きる講座の参加者に特典として配布した。

(2) 配布期間:令和6年7月5日(金)から7月31日(水)



2. 福島県立図書館森合移転 40 周年記念展示

県立図書館 40 周年移転を記念した 2 つの企画展示を実施いたしました。

◆『館報あづま』で振り返る福島県立図書館森合移転 40 周年

(1) 概要

当館発行物である『館報あづま』の記念号や主要な出来事について記録されている号を時系列に展示し、40 年のあゆみを振り返る構成とした。また、『図書館だより』や開館当時のポスターなどの資料も並列して紹介した。



(2) 開催期間

令和 6 年 7 月 5 日(金)から 9 月 4 日(水)

(3) 展示資料一覧

- ・『館報あづま 通巻 212 号』 福島県立図書館 1984.7
- ・『館報あづま 通巻 218 号』 福島県立図書館 1986.4
- ・『館報あづま 通巻 229 号』 福島県立図書館 1990.3
- ・『館報あづま 通巻 236 号』 福島県立図書館 1993.1
- ・『館報あづま 通巻 252 号』 福島県立図書館 2001.9
- ・『館報あづま 通巻 253 号』 福島県立図書館 2002.3
- ・『館報あづま 通巻 256 号』 福島県立図書館 2003.9
- ・『館報あづま 通巻 258 号』 福島県立図書館 2004.7
- ・『館報あづま 通巻 262 号』 福島県立図書館 2008.12
- ・『館報あづま 通巻 266 号』 福島県立図書館 2012.6
- ・『館報あづま 通巻 268 号』 福島県立図書館 2014.7
- ・『館報あづま 通巻 269 号』 福島県立図書館 2015.11
- ・『館報あづま 通巻 270 号』 福島県立図書館 2017.2
- ・『館報あづま 通巻 274 号』 福島県立図書館 2021.3
- ・『[福島県立図書館開館ポスター]』 [福島県立図書館／編] [福島県立図書館] 1984
- ・『福島県立図書館』 福島県立図書館／編 福島県立図書館 1984
- ・『福島県立図書館基本設計』 石本建築事務所／[編] 石本建築事務所 1981



- ・『美と知の殿堂いま開く 県立図書館・美術館特集』福島民報社／編 福島民報社 1984.7
- ・『図書館だより No.1』福島県立図書館／編 福島県立図書館 1988.8
- ・『図書館だより 第122号』福島県立図書館／編 福島県立図書館 1999.7
- ・『ごろすけ通信 児童図書研究室ニュース 1996.1』福島県立図書館・児童図書研究室 1996
- ・『福島県郷土資料情報 No.1』福島県立図書館調査課／編 福島県立図書館 1986.8
- ・『東日本大震災福島県復興ライブラリー ブックガイド記念号』福島県立図書館／編 福島県立図書館 2021.3
- ・『福島県立図書館入館者700万人達成記念[ポストカード]』[福島県立図書館／作成] [福島県立図書館] 2015
- ・『長田文庫開設関連新聞記事クリッピング』福島県立図書館 2017

◆新聞に見る福島県立図書館森合移転40周年

(1) 概要

1970年代後半に県立図書館移転整備計画が動き出してから、建設地の決定、着工、建物の完成、そして移転開館当日をどのように迎えたか、その様子をうかがえる当時の新聞を展示した。



(2) 開催期間

令和6年10月4日(金)から12月4日(水)

(3) 展示紙面一覧

- ・福島民報 1978年10月6日朝刊1面「新県立図書館`実現、の段階」
- ・福島民報 1979年1月3日朝刊27面「動き出す3館整備」
- ・福島民報 1982年8月4日夕刊1面「文化の殿堂着工」
- ・福島民報 1984年4月8日朝刊3面「引っ越し大作戦 40万冊、10日から」
- ・福島民報 1984年4月21日朝刊3面「近代的な文化の殿堂」
- ・福島民報 1984年7月22日別冊1面「美と知の殿堂 いま開く」
- ・福島民友 1980年4月3日朝刊1面「建設地は福大経済跡地」
- ・福島民友 1980年4月15日朝刊1面「福島市 二つの候補地示す」
- ・福島民友 1982年8月5日朝刊2面「県立美術館と図書館 59年開館めざし着工」
- ・福島民友 1984年4月5日夕刊3面「蔵書40万冊引っ越し」
- ・福島民友 1984年4月21日朝刊2面「県立美術館・図書館初めて公開」
- ・福島民友 1984年7月23日朝刊1面「県立美術館・図書館オープン」

また企画展示以外にも、センターホールにて以下のミニ展示を実施いたしました。

・**福島県立美術館・図書館 全景模型(S.1/300)展示**

展示期間 令和6年7月5日(金)から7月31日(水)

・**移転当時の写真の展示**

展示期間 令和6年7月20日(土)から7月31日(水)

・**新聞で見る森合移転開館**

展示期間 令和6年7月20日(土)から7月31日(水)



福島県立美術館・図書館 全景模型(S.1/300)



移転当時の写真

3. 令和6年度 福島を生きる講座

福島県立図書館では県民が福島について知識を深め新たな活動につなげることができる講座「福島を生きる講座」を開催しています。今年度は県立図書館森合移転 40 周年を記念した3つの講座を開催いたしました。

第1回「藤田浩子さんの語りの世界」

講師 藤田浩子 氏(幼児教育専門家)

開催日 令和6年5月25日(土) 10時から11時30分

第2回「ふくしまの建築の昭和—福島県立図書館が生まれたころ—」

講師 速水清孝 氏(日本大学工学部 建築学科 教授)

開催日 令和6年7月27日(土) 14時から15時30分

第3回「300年にわたる土地争い—大沼郡桑原村と宮下村の入会争論—」

講師 山田英明 氏(公益財団法人福島県文化振興財団 歴史資料課 主幹)

開催日 令和6年9月21日(土) 14時から15時30分

講座の詳細な報告は、p.10からの「福島県立図書館森合移転40周年記念事業 令和6年度「福島を生きる講座」実施報告」に掲載しています。あわせてご覧ください。

4. 『福島県立図書館報あづま 移転 40 周年記念号』の発行

福島県立図書館では図書館業務の周知と読書活動の普及を図る目的で、毎年『福島県立図書館報あづま』を発行しています。令和 6 年度は福島県立図書館の森合移転 40 年を記念した「移転 40 周年記念号」として発行いたしました。

移転から現在までの出来事を 10 年ごとに年表でまとめた「福島県立図書館移転後 40 年のあゆみ年表で見る移転 40 年」では、IT の発達や東日本大震災の発生、新型コロナウイルス感染拡大など、当時の社会情勢を背景とした福島県立図書館の動きを見ることができます。

また、昭和 59 (1984) 年の移転当時から現在まで勤務している職員による「移転 40 年 職員の声 福島県立図書館の在りよう—40 年前といま—」では、40 年間の図書館のあゆみを一職員の立場から捉えており、年表とは違った視点でこの 40 年を振り返る内容となっています。



『福島県立図書館報あづま 第 73 巻(通巻 277 号) 移転 40 周年記念号』は福島県立図書館のホームページからご覧いただけます。ぜひご一読ください。

「県立図書館報「あづま」」(https://www.library.fcs.ed.jp/?page_id=379)

福島県立図書館ホームページ > 図書館案内 > 図書館刊行物 > 県立図書館報「あづま」

(地域資料チーム 吉澤風花)

『福島県管内道路分類縮図』

日本に初めて「国道」の名称が登場したのは、今から約 150 年前のことです。明治 9(1876) 年、太政官達 60 号により道路の種類・等級を規定したのが始まりとされています。そのなかで道路は国道・県道・里道の三種とし、それぞれ三等級に区分され道幅などが定められました。一方で国道の路線は指定されず、したがって現在のような番号の割り当てでもありませんでした。国道が初めて連番制となるのは明治 18(1885) 年のことで、同時に国道の等級区分は廃止となりました。

明治初期の資料『福島県管内道路分類縮図』は、国道に番号が付与される以前の福島県内を通る国道・県道を示した地図で、当時の主要道路を地図上で辿ることができる資料です。縮尺は 10 万 8 千分の 1、道路上には宿場と各宿場間の距離が示されているほか、主要な山岳、河川が描かれています。他の明治期管内地図と比較すると情報は簡略化されており、タイトルが示す通り道路分類に焦点を当てて作成されたことが推察されます。また、明治 19(1886) 年に新潟県へ移管となる東蒲原郡が福島県の所属となっていること、明治 21(1888) 年の磐梯山噴火によって形成される桧原湖が描かれていないことなど、現在とは異なる明治期の福島県の姿が垣間見えるのも、特徴の一つと言えるでしょう。



『福島県管内道路分類縮図』表紙
〔出版者不明〕〔明治初期〕

先に述べた太政官達 60 号では国道について、一等は東京より各開港場に達する道路、二等は東京より伊勢や各鎮台に達する道路、三等は東京より各県庁に達する道路等と定めていました。当時の道路分類については明治 12(1879) 年発行『福島県管内道路分類等級路線里程』にも記録が残っており、福島県内では次の二路線が国道に該当しました。

■陸羽街道

東京から函館に至る道の一部で、栃木県から白河、矢吹、郡山、二本松、福島を経由して宮城県へ抜ける道路です。改称前は奥州街道とも呼ばれており、明治 12(1879) 年に国道一等に仮定され、その後明治 18(1885) 年に国道 6 号、大正 9(1920) 年に国道 4 号へと改められ現在に至ります。

■山形街道(山形秋田街道)

福島から瀬ノ上、上飯坂、茂庭を経由して、宮城県へ向かう道路です。東京から山形に至る道の一部で国道三等に仮定されており、明治 14(1881) 年に万世大路が開通するまで福島と山形を結ぶ重要な交通路となっていたようです。

■陸前浜街道

■越後街道

福島等縣內道路分縣等統并路線里程表	國道第壹等 從東京 函館へ通	白坂 拾壹丁拾九間四尺	白石 壹里卅五丁五拾五間	小田川 壹里卅二丁八間四尺	矢吹 貳里卅六丁一尺	笠石 壹里二丁四拾四間	須賀川 壹里拾五丁五拾三間	壽山 三里九丁八間五尺	高倉 貳里拾七丁拾六間	本宮 壹里六丁五拾六間五尺	二本松 貳里卅三丁卅二間三尺
國道第貳等 從東京 函館へ通	國道第叁等 從東京 函館へ通	湯野 壹里卅二丁五拾二間三尺	瀨ノ上 壹里拾五丁三間三尺	宮城縣界迄 二里拾八丁五間二尺	三里五丁八間四尺	合里程七里七丁七間二尺	從福島縣境邊計八里卅丁六間二尺	縣道第壹等 從福島縣 矢城縣へ通	縣道第貳等 從福島縣 矢城縣へ通	縣道第叁等 從福島縣 矢城縣へ通	縣道第肆等 從福島縣 矢城縣へ通

〈参考文献〉

- ・『道 2』 武部 健一／著 法政大学出版局 2003.11
- ・『道と駅』 木下 良／著 吉川弘文館 2023.10
- ・『ふしぎな国道』 佐藤 健太郎／著 講談社 2014.10
- ・『福島県管内道路分類等級路線里程』 [出版者不明] 1879
- ・『福島県土木史』 福島県建設技術協会 1990.3
- ・『福島県史 第4巻 通史編』 福島県／編 福島県 1971
- ・『福島県史 第15巻 政治I』 福島県／編 福島県 1968
- ・『福島市史 第4巻 近代』 福島市史編纂委員会／編 福島市教育委員会 1974
- ・『「歴史の道」調査報告書 奥州道中』 福島県教育委員会／編 福島県教育委員会 1983.3
- ・『「歴史の道」調査報告書 浜街道』 福島県教育委員会／編 福島県教育委員会 1985.3
- ・『一般国道 49号 全線完通記念』 建設省東北地方建設局郡山国道工事事務所／企画・編集
建設省東北地方建設局郡山国道工事事務所 1971.10

(地域資料チーム 新妻未菜)

令和 6 年度「福島を生きる講座」実施報告

当館では県民が福島について知識を深め新たな活動につなげることができる講座「福島を生きる講座」を開催しています。今年度、当館の森合移転 40 周年記念事業として開催した第 1 回から第 3 回までの当講座の内容について紹介します。

第 1 回「藤田浩子さんの語りの世界」

講 師 藤田浩子 氏（幼児教育専門家）

開催日時 令和 6 年 5 月 25 日（土）10 時から 11 時 30 分

参加人数 100 名



全国各地でおはなしを語り続けている藤田氏をお招きし、福島県三春町に疎開していた頃の思い出や福島県の語り部の方との交流など、これまでの経験や語りへの思いについて、語りの実演を交えてお話しいただきました。

時折笑いを織り交ぜてのお話に加えて、語りの実演の際に参加者も唱和するなど、会場内は終始楽しい雰囲気になりました。

日は県内で読み聞かせや民話の語りを行っている方もたくさんご参加いただきました。

第 2 回「ふくしまの建築の昭和—福島県立図書館が生まれたころ—」

講 師 速水清孝 氏（日本大学工学部 建築学科 教授）

開催日時 令和 6 年 7 月 27 日（土）14 時から 15 時 30 分

参加人数 65 名



県内建築に詳しく、2021 年日本建築学会賞（論文）を受賞された速水氏に、当館が「福島県物産陳列館」を転用する形で昭和 4（1929）年にスタートしたところから現在の建物が設計されるまでを、関連建築や福島市の歴史的建造物の話も交えながらお話しいただきました。

講演中はまるで昭和の福島市にタイムスリップしたようで、あっという間のとても楽しい

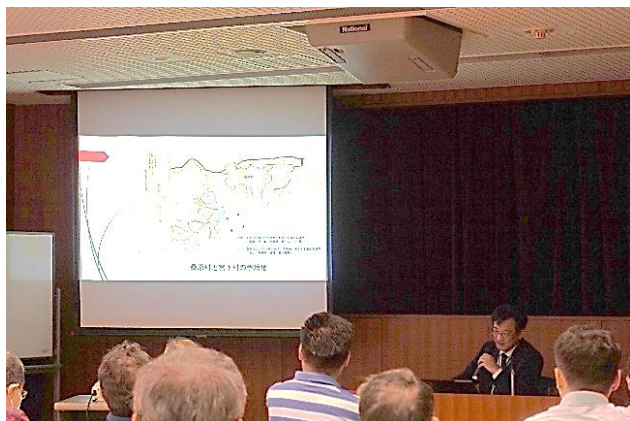
時間でした。講演会終了直後、参加者から複数、職員へ直接満足の声が寄せられました。

第3回「300年にわたる土地争い—大沼郡桑原村と宮下村の入会争論—」

講 師 山田英明 氏（公益財団法人福島県文化振興財団 歴史資料課 主幹）

開催日時 令和6年9月21日（土）14時から15時30分

参加人数 38名



大沼郡桑原村と宮下村（いずれも現三島町）の間で、慶長2（1597）年から明治13（1880）年にわたって繰り広げられた入会地（薪などを採集できる、生活上とても重要な土地）をめぐる争論について、その経緯と新史料で判明した内容をお話いただきました。

新史料の解説により、町史に記載されていた内容のその後も学ぶことができ、当県の新たな歴史の一端を知ることができたとともに、古文書を読み解く面白さを実感することができる貴重な時間となりました。講師による分かりやすい解説は、参加者の皆様に好評でした。

※福島県歴史資料館移動展「江戸・明治の争論」【令和6年9月6日（金）から10月2日（水）】の関連事業として開催されました。

（企画管理部 佐々木愛）

福島県関係書誌の紹介・2024

このリストは、当館で所蔵する2024年1月から12月までに刊行された福島県関係の資料のなかで、1つの主題や人物について20以上の文献を紹介しているものを集成した書誌です。(一部の主題は20以下でも収録しています)

主題編と人物編に区分し、それぞれ主題、人名の50音順、発行年月順に配列しました。なお、主題は検索の便宜を優先して付けましたので、厳密な体系化は考慮していません。

2023年以前発行資料で、「福島県関係書誌の紹介・2023」に未収録のものも併せて集録しました。

特定の主題、人物についての文献リストとして活用していただければ幸いです。

凡 例

主題

⇨関連主題

・(掲載数)項目

「論文名」編著者 『資料名』編著者

出版者 発行月 項目掲載頁

*備考

主題編

会津みしらず柿

・(19)参考引用文献

『会津みしらず柿』平出美穂子／著 歴史春秋出版 12月 p93

赤館跡

⇨棚倉町

・(43)引用・参考文献

「赤館跡上台地区防塁遺構の性格と構築年代」佐藤啓・布尾和史／[著] 『福島考古 第66号』福島県考古学会 11月 p36

医学・医療

⇨太田総合病院

・(66)発表論文

『太田総合病院学術年報 第58号』太田総合病院 2023年12月 p13-32

・(64)発表論文

『太田総合病院学術年報 第59号』太田総合病院 11月 p13-52

⇨福島県立医科大学

・福島県立医科大学業績 論文・書籍等出版物・研究発表等

『福島県立医科大学業績集 令和4年』
福島県立医科大学附属学術情報センター
3月 p1-627

遺跡・遺物

・(2550)総目録

『発掘調査報告書総目録 福島県編』国立文化財機構奈良文化財研究所企画調整部文化財情報研究室／編・発行 6月 p1-186

いわき市四倉

・(52)関連資料

『古代と中世の四倉 令和6年度後期企画展』いわき市立いわき総合図書館／編・発行 11月 p16-17

植松遺跡

⇨浪江町

・(39)参考文献

『植松遺跡』(浪江町埋蔵文化財調査報告 第26冊) 浪江町教育委員会事務局・イビソク／編 浪江町教育委員会 2023年3月 p64-65

浮田国造

・(35)引用参考文献

「陸奥の浮田国造と近江の「浮田」」菅原祥夫／[著] 『福島考古 第63号』福島県考古学会 2021年11月 p55-56

応時遺跡

⇨いわき市

・(31)引用参考文献

『応時遺跡 2』(いわき市埋蔵文化財調査報告 第201冊) いわき市教育文化事業団／編 いわき市教育委員会 3月 章末

*各章末の参考文献を合算

温泉

- ・(37)参考文献
『泉質から見た福島県の温泉』 三本杉ジ
オテック／編・発行 4 月 p7-8

蒲倉古墳群

⇨郡山市

- ・(26)引用・参考文献
「郡山市蒲倉古墳群の研究－大型終末期
群集墳における多系統石室の消長－」 草
野潤平／[著] 『福島考古 第66号』 福
島県考古学会 11 月 p19-20

看護学

⇨福島県立医科大学

- ・(65)業績一覧
『福島県立医科大学看護学部紀要 第26
号』 福島県立医科大学看護学部 3 月
p51-63
*業績一覧から著書や論文の数を掲出

旧石器時代

- ・(25)引用・参考文献
「常磐地方周辺における後期旧石器時代
前半期の移動領域」 石川太郎／[著]
『いわき地方史研究 第57号』 いわき地
方史研究会 2020 年 10 月 p7-8

行政資料

- ・(600)
『福島県立図書館所蔵 県内行政機関発
行資料一覧（令和5年1月～令和5年
12月受入）』 福島県立図書館資料情報
サービス部地域資料チーム 12 月
p3-17

県民健康調査

⇨福島県立医科大学放射線医学県民健康管 理センター

- ・(41)県民健康調査関連論文
『放射線医学県民健康管理センター活動
実績 令和4年度』 福島県立医科大学
放射線医学県民健康管理センター 2023
年 12 月 p19-59

考古学

- ・(131)平成30年度福島県考古学関係文献
目録
『福島考古 第61号』 福島県考古学会
2019 年 11 月 p113-119
- ・(104)令和元年度福島県考古学関係文献目録
『福島考古 第62号』 福島県考古学会
2020 年 11 月 p134-141
- ・(111)令和2年度福島県考古学関係文献目録
『福島考古 第63号』 福島県考古学会
2021 年 11 月 p125-132
- ・(76)令和3年度福島県考古学関係文献目録
『福島考古 第64号』 福島県考古学会
2022 年 12 月 p116-121
- ・(133)令和4年度福島県考古学関係文献目録
『福島考古 第65号』 福島県考古学会
2023 年 11 月 p88-99
- ・(186)令和5年度福島県考古学関係文献目録
『福島考古 第66号』 福島県考古学会
11 月 p113-124

港津

⇨磐城郡

- ・(75)引用参考文献
「荒田目条里制遺跡1号木簡に見える「立
屋津」の所在地」 太田勇陽／[著] 『い
わき市教育文化事業団研究紀要 第21
号』 3 月 p90-92

鉱物

⇨石川町

- ・(98)引用・参考文献
『ペグマタイトの記憶 石川の希元素鉱物
と『二号研究』のかかわり』 増補版 石川
町立歴史民俗資料館／編 石川町教育委
員会 7 月 p273-275

郡山市立美術館

- ・刊行物リスト,寄稿及び関連記事・報道
『郡山市立美術館年報 平成21年度』
郡山市立美術館 2010 年 7 月 p60-62

- ・刊行物リスト,寄稿及び関連記事・報道
『郡山市立美術館年報 平成 22 年度』
郡山市立美術館 2011 年 8 月 p64-67
- ・刊行物リスト,寄稿及び関連記事・報道
『郡山市立美術館年報 平成 23 年度』
郡山市立美術館 2012 年 9 月 p51-53
- ・刊行物リスト,寄稿及び関連記事・報道
『郡山市立美術館年報 平成 24 年度』
郡山市立美術館 2013 年 8 月 p58-60
- ・刊行物リスト,寄稿及び関連記事・報道
『郡山市立美術館年報 平成 25 年度』
郡山市立美術館 2014 年 9 月 p65-67
- ・刊行物,寄稿及び関連記事・報道
『郡山市立美術館年報 平成 26 年度』
郡山市立美術館 2015 年 9 月 p56-58
- ・刊行物,寄稿及び関連記事・報道
『郡山市立美術館年報 平成 27 年度』
郡山市立美術館 2016 年 9 月 p56-59
- ・刊行物,館外での活動及び関連記事
『郡山市立美術館年報 平成 28 年度』
郡山市立美術館 2017 年 8 月 p59-61
- ・刊行物,館外での活動及び関連記事・報道
『郡山市立美術館年報 平成 29 年度』
郡山市立美術館 2019 年 2 月 p31-33
- ・刊行物,館外での活動及び関連記事・報道
『郡山市立美術館年報 平成 30 年度』
郡山市立美術館 2019 年 9 月 p41-43
- ・刊行物,館外での活動及び関連記事・報道
『郡山市立美術館年報 平成 31 年度・令和元年度』郡山市立美術館 2020 年 7 月 p48-50
- ・刊行物,館外での活動及び関連記事・報道
『郡山市立美術館年報 令和 2 年度』郡山市立美術館 2021 年 7 月 p42-43
- ・刊行物,館外での活動及び関連記事・報道
『郡山市立美術館年報 令和 3 年度』郡山市立美術館 2022 年 7 月 p44-46
- ・刊行物,館外での活動及び関連記事・報道
『郡山市立美術館年報 令和 4 年度』郡山市立美術館 2023 年 6 月 p45-47

- ・刊行物,館外での活動及び関連記事・報道
『郡山市立美術館年報 令和 5 年度』郡山市立美術館 7 月 p57-58

瞽女

- ・(23)参考文献等
「『瞽女口説地震の身の上』と福島県相双地方への瞽女の遊芸」二本松文雄／[著]『南相馬市博物館研究紀要 14』南相馬市博物館／編・発行 3 月 p50

古代

- ・(450)引用・参考文献
『古代国家と東北境界領域の考古学』菅原祥夫／著 同成社 12 月 p305-322

古墳時代

- ・(114)参考文献
「福島県浜通り地方における古墳時代の動向(その 1)」荒淑人／[著]『南相馬市博物館研究紀要 13, 2022.3』南相馬市博物館／編・発行 2022 年 3 月 p49-52
- ・(46)引用参考文献
「福島県域の部民制・屯倉制・国造制について考える」安田稔／[著]『福島考古 第 65 号』福島県考古学会 2023 年 11 月 p39-40

昆虫

⇨いわき市・相馬市

- ・(22)引用文献
「福島県いわき市と相馬市のアリ相」塘忠顕／[著]『福島生物 No.67』福島県生物同好会 8 月 o49-50

⇨只見町

- ・(30)参考文献
『只見のトンボ』(企画展解説シリーズ 19) 太田祥作／著, 只見町ブナセンター／編・発行 2023 年 8 月 p48-[49]
- ・(35)参考文献
「福島県只見町のカメムシ類(カメムシ目):2000 年から 2023 年の調査成果」角田亘／[著]『只見の自然 只見町ブナ

センター紀要 No.11』3月 只見町ブナ
センター p30

災害

⇨雑誌記事

- ・都道府県別一覧 東北地方,福島県
『日本の主要災害雑誌文献 自然災害篇
<近現代>』日外アソシエーツ 7月
p704-706

祭祀遺物

- ・(20)参考文献
「いわき地方の祭祀遺物について(2)ーい
わきの考古資料集成ー」木幡成雄/
[著]『いわき市教育文化事業団研究紀
要 第21号』3月 p44-45

酒

- ・(106)参考文献
『ふくしまの酒造り』福島県立博物館/
編・発行 9月 p108-109

樹木

⇨只見町

- ・(23)引用文献
「只見町梁取地区のあがりこ型樹木集団
の構造と形成過程」鈴木和次郎/[ほか
著]『只見の自然 只見町ブナセンター紀
要 No.11』3月 只見町ブナセンター
p58

縄文時代

- ・(30)引用・参考文献
「いわき地方と茨城県北部における縄文
時代の石材利用の比較」石川太郎/
[著]『いわき地方史研究 第56号』い
わき地方史研究会 2019年10月
p13-14
- ・(99)参考文献,本企画展関連縄文遺跡別引
用文献
『縄文みなみそうま 浦尻貝塚縄文の丘公
園オープン記念企画展』(南相馬市博物
館企画展図録 第35集) 南相馬市教育
委員会文化財課/編 南相馬市博物館 9
月 p61,p62-63

植物

⇨福島県師範学校

- ・(112)参考・引用文献
『福島師範の植物研究 根本莞爾と師弟
たち』阿部武/編著・発行 8月
p82-86

書誌

- ・(14)
『書誌年鑑 2024』有木 太一/編 日
外アソシエーツ 12月
*朝河貫一(p7),阿部泰隆(p12),いわき
市(p44),草野心平(135p),高橋正人
(p299),伊達植宗(301),円谷英二
(p324),富岡町(福島県)(p354),福島県
(p410),福島県史(p410),「福島史学研
究」(p410),福島第一原子力発電所事故
(p410),戊辰戦争(p439),矢吹晋
(p473)の書誌が掲載。

白河藩

- ・(82)主要参考文献
『武門の遺産 徳川家を支えた忍・桑名・
白河』行田市・桑名市・白河市合同企画
展実行委員会/[ほか]編集・発行 2023
年8月 p95

石器

⇨南相馬市・浪江町

- ・(27)引用・参考文献
「浜通り地方における石刃石器群ー南相馬
市八幡林遺跡・浪江町立野地区の新資料
ー」加藤学/[著]『福島考古 第65
号』福島県考古学会 2023年11月
p47-48

平城

⇨いわき市

- ・(35)引用・参考文献
『平城跡 4』(いわき市埋蔵文化財調査
報告 第198冊) いわき市教育文化事業
団/編 いわき市教育委員会 3月
p105-106

中世陶器

・(21)引用・参考文献

「須賀川市米山寺経塚群出土中世陶器の検討」佐藤俊／〔著〕『福島考古 第65号』福島県考古学会 2023年11月 p65

中世史

・(319)参考文献一覧

『岩城氏と岩崎氏の中世』中山雅弘／著 高志書院 5月 巻末 p6-18

鳥類

・(32)引用文献

『松川浦の野鳥』日本野鳥の会福島県相双支部／〔編〕・発行 3月 p61-62

倒置深鉢

・(37)主要参考文献

「福島県の倒置深鉢の様相 ―縄文時代中期後半～後期初頭の住居床面出土例を中心に―」後藤信祐／〔著〕『福島考古 第64号』福島県考古学会 2022年12月 p81-82

土器

・(86)引用・参考文献

「天王山式の文様モチーフ ―三叉(角)構成文・連携入組文・対向弧文の変遷―」青山博樹／〔著〕『福島考古 第64号』福島県考古学会 2022年12月 p33-35

土偶

・(69)参考・引用文献

「縄文中期における土偶立体化と出産土偶登場の意味(下)」荒木隆／〔著〕『福島考古 第65号』福島県考古学会 2023年11月 p18-20

仲ノ平古墳群

⇨須賀川市

・(52)引用・参考文献

「須賀川市仲ノ平古墳群5号住居跡の再検討」神林幸太郎／〔著〕『福島考古

第63号』福島県考古学会 2021年11月 p23-24

浪江町赤字木地区

・(109)資料/参考・引用文献

『百年後の子孫たちへ 浪江町赤字木の記録』赤字木記録誌編集委員会／編・発行 3月 巻末

南湖公園

・(51)主要参考文献

『南湖公園ものがたり』白河市歴史民俗資料館／編・発行 9月 p77

土師器

・(25)引用参考文献

「会津郡衙近傍の土師器生産」山中雄志／〔著〕『福島考古 第63号』福島県考古学会 2021年11月 p100-101

馬場前遺跡

⇨檜葉町

・(57)参考文献

『馬場前遺跡』(檜葉町文化財調査報告書 第22集) いわき市教育文化事業団／編 檜葉町教育委員会 2月 p156-158

東日本大震災

・(32)参考文献

「第2章 3.11後の復興と<自然支配> ―ポスト開発論の視点から―」嶋原敦子／〔著〕『3.11からの平和学』日本平和学会／編 明石書店 2023年12月 p48-49

・(77)主要参考文献

『被災者発の復興論』山下祐介・横山智樹／編 岩波書店 3月 巻末 p1-5

⇨短歌

・(141)震災歌集リスト

『終わっていない、逃れられない <当事者たち>の震災俳句と短歌を読む』加島正浩／〔著〕文学通信 9月 p212-218

⇨俳句

・(95)震災句集リスト

『終わっていない、逃れられない <当事者たち>の震災俳句と短歌を読む』加島正浩／[著] 文学通信 9月 p219-223

福島第一原子力発電所事故

・(24)参考文献

「第1章 語りにくい原発事故被害—なぜ被害の可視化が必要なのか—」清水奈名子／[著] 『3.11からの平和学』日本平和学会／編 明石書店 2023年12月 p28-30

・(29)文献、報道、動画

「第8章 福島第一原発事故の後始末—海洋放出に反発する太平洋諸島の人びとの声—」竹峰誠一郎／[著] 『3.11からの平和学』日本平和学会／編 明石書店 2023年12月 p149-151

・(40)主要参考文献

『原発事故、ひとりひとりの記憶』(岩波ジュニア新書 981) 吉田千亜／著 岩波書店 2月 p217-220

・(23)参考文献

「第1章 福島の復興に関する教訓」川崎興太／著 『福島復興の視点・論点』明石書店 2月 p51-52

・(27)参考文献

「第3章 復興政策の目標とその指標を考える」御手洗潤／著 『福島復興の視点・論点』明石書店 2月 p88-89

・(29)参考文献

「第11章 福島原発事故をめぐる集団訴訟と復興政策の課題」除本理史／著 『福島復興の視点・論点』明石書店 2月 p211-213

・(23)参考文献

「第18章 コミュニティ再生に向けた行財政支援の現状と課題」関耕平／著 『福島復興の視点・論点』明石書店 2月 p302-303

・(47)参考文献

「第24章 原発被災地における居住地選択の意味」田中正人／著 『福島復興の視点・論点』明石書店 2月 p387-390

・(28)参考文献

「第37章 福島第一原子力発電所における原子力災害の伝承」ユリア・ゲルスタ／著 『福島復興の視点・論点』明石書店 2月 p600-601

・(157)参考文献

『被災当事者の思想と環境倫理学』山本剛史／編・著 言叢社 3月 巻末p12-18

・(203)引用文献

『<意見書>フクシマ型 PTSD “今やらねばならぬこと”』辻内琢也／著 三和書籍 8月 p448-461

⇨葛尾村

・(20)参考文献

「第25章 再び「ふるさと」を奪われた避難者の「ふるさと」 葛尾村戦後開拓民の事例にみる」堀川直子／著 『福島復興の視点・論点』明石書店 2月 p409

⇨公害

・(23)参考文献

「第7章 環境破壊である公害に、どのように対応するのか？」窪田亜矢／著 『福島復興の視点・論点』明石書店 2月 p135-136

⇨双葉町

・(40)参考文献

『双葉町不屈の将 井戸川克隆』日野行介／著 平凡社 2月 p237-238

⇨放射性物質

・(44)文献, もっと詳しく知るために

「第3章 福島第一原発事故による放射性物質の初期沈着と空からの放射線モニタリング」鳥居建男・眞田幸尚／[著] 『環境放射能学入門』福島大学環境放射能研究所 2月 p51-54

- ・(22)文献,もっと詳しく知るために
「第4章 森林放射生態学:森林生態系における放射性核種の動態」ヴァシル ヨシエンコ・難波謙二／[著]『環境放射能学入門』福島大学環境放射能研究所 2月 p73-75
- ・(50)文献,もっと詳しく知るために
「第6章 土壌の放射性セシウムと作物への移行」塚田祥文／[著]『環境放射能学入門』福島大学環境放射能研究所 2月 p122-126
- ・(41)文献,もっと詳しく知るために
「第7章 水産物の放射能汚染と福島県の漁業復興」和田敏裕／[著]『環境放射能学入門』福島大学環境放射能研究所 2月 p155-158
- ・(28)文献,もっと詳しく知るために
「第8章 海洋環境での放射性核種」高田兵衛／[著]『環境放射能学入門』福島大学環境放射能研究所 2月 p182-184
- ・(27)文献,もっと詳しく知るために
「第9章 森林の放射生態学 放射線の植物への影響」ヴァシル ヨシエンコ・難波謙二／[著]『環境放射能学入門』福島大学環境放射能研究所 2月 p194-197
- ・(32)文献,もっと詳しく知るために
「第10章 野生動物への放射線影響」石庭寛子／[著]『環境放射能学入門』福島大学環境放射能研究所 2月 p211-214
- ・(28)文献,もっと詳しく知るために
「第11章 福島とチヨルノービリの比較」アレクセイ コノプレフ／[ほか著]『環境放射能学入門』福島大学環境放射能研究所 2月 p251-253

仏教

- ・(79)参考文献

「会津の古代仏教を考えるためにー10世紀前半までを中心ー」坂内三彦／[著]『福島考古 第66号』福島県考古学会 11月 p89-91

文化財

⇨棚倉町

- ・(41)参考・引用文献等
『棚倉町歴史文化基本構想』棚倉町教育委員会／編・発行 2019年3月 p72-73

紡錘車

- ・(22)引用・参考文献
「福島県における渡来系遺物の一様相ー郡山市清水内遺跡出土の算盤玉形紡錘車を中心にー」佐久間正明・渡邊歩／[著]『福島考古 第64号』福島県考古学会 2022年12月 p98-99

戊辰戦争

- ・(309)参考文献
『関東・東北戊辰戦役と国事殉難戦没者』今井昭彦／著 御茶の水書房 2023年12月 p179-201

前田川大塚古墳・大仏古墳群

⇨須賀川市

- ・(46)引用・参考文献
『前田川大塚古墳2・大仏古墳群2』(福島大学考古学研究報告 第17集)福島大学行政政策学類考古学研究室／[編]・発行 3月 p39-40

箕作村

⇨会津美里町

- ・(27)参考文献
『陸奥国大沼郡東尾岐組箕作村四百五拾年の歴史 馬場章家古文書を辿る』谷澤貞芳／著・発行 8月 p332

民話・昔話

- ・(26)見出し一覧 日本-東北地方-福島県
『民話・昔話全情報 2008-2015』日外アソシエーツ 2016年4月 p355-356

- ・(27)見出し一覧 日本-東北地方-福島県
『民話・昔話全情報 2016-2023』日外
アソシエーツ 2月 p340-343

文書目録

- ・二本松藩領上伊豆島村名主添田家文書
『郡山市歴史資料館収蔵資料目録 第38
集』郡山市歴史資料館／編 郡山市 3
月 p1-61
- ・(1921)北信支所文書(旧余目村役場文書)
目録
『福島市史資料叢書 第110輯 北信支所
文書(旧余目村役場文書)』福島市史編
纂委員会／編集 福島市 3月
p177-254

弥平迫遺跡

⇄浪江町

- ・(41)参考文献
『弥平迫遺跡 第2次発掘調査』(浪江町
埋蔵文化財調査報告 第27冊) 浪江町
教育委員会生涯学習課・国際文化財株式
会社／編 浪江町教育委員会 3月
p236

歴史

- ・(35)福島県
『地方史文献年鑑 2023 郷土史研究雑
誌目次総覧 27』飯澤文夫／編 白鳥舎,
岩田書院(発売) 12月 p59-71

若松城

- ・(22)参考文献
『筒井善太夫邸跡2 若松城郭内武家屋
敷跡』(会津若松市文化財調査報告書 第
176号) 会津若松市教育委員会／編・発
行 3月 p32

和郷

⇄磐城郡

- ・(21)参考文献等
「『和名類聚抄』に見える磐城郡和郷に関
する考察」中井忠和／[著] 『いわき地
方史研究 第57号』いわき地方史研究
会 2020年10月 p31-32

- ・(138)引用・参考文献

「陸奥国磐城郡「和」郷の再検討」太田
勇陽／[著] 『福島考古 第63号』福島
県考古学会 2021年11月 p41-44

人物編

阿部泰隆

- ・(69)阿部の著書リストとそのポイント
『行政法学の変革と希望 傘寿を記念し
て』阿部泰隆／編著 信山社 2023年3
月 p119-149
- ・(613)阿部論文・判例研究などのリスト(収録
論文集明記)
『行政法学の変革と希望 傘寿を記念し
て』阿部泰隆／編著 信山社 2023年3
月 p151-204

蒲生氏郷

- ・(60)参考書籍
『蒲生氏郷 会津宰相と文化』若松城天
守閣郷土博物館／[編]・発行 9月
p76-77

人物集合書誌

- ・(3767)
『福島県人物・人材情報リスト 2025』日
外アソシエーツ株式会社 10月
*福島県関係者 3,767人を収録

鈴木善太郎

- ・(103)
『鈴木善太郎 雑誌掲載著作一覧(稿)』
改訂増補版 菅野俊之／編 工房ポチ&ア
プリコット 3月 p1-8

伝記集

- ・引用・参考文献
『愚直に生きた 下巻』伊藤哲也／著 歴
史春秋出版 1月 各章末
*土方歳三,町野主水,山本覚馬,飯沼貞吉,
永倉新八を掲載

永岡久茂（敬次郎）

・(43)引用・参考文献

「永岡久茂の波乱万丈な生涯」 伊藤哲也
／[著] 『会津人群像 no.47』 2 月
p92

新島八重

・(101)参考文献抄

『定本新島八重伝』 吉海直人／著 武蔵
野書院 2023 年 10 月 p231-236

築瀬真精（辰之助）

・(71)参考文献

『独見集 岩内町郷土館蔵築瀬家文書 築
瀬真精書翰集』 見野久幸／編著・[発
行] 9 月 p166-170

結城宗広

⇔結城親朝

・(46)参考文献

『結城宗広・親朝』 伊藤喜良／著 戎光祥
出版 6 月 巻末

好川之範

・(41)好川之範執筆歴

「会津人好川之範物語～"会津士魂"に駆
けた人生～」 村岡章吾／[著] 『会津人
群像 no.47』 2 月 p189-195

吉野せい

・(23)関連資料

『吉野せい入門 令和 6 年度前期企画展』
いわき市立いわき総合図書館／編・発行
7 月 p14

（地域資料チーム 板津恵子）

=====

郷土資料情報 No.65

発行 2025 年 2 月 21 日

編集・発行 福島県立図書館

=====